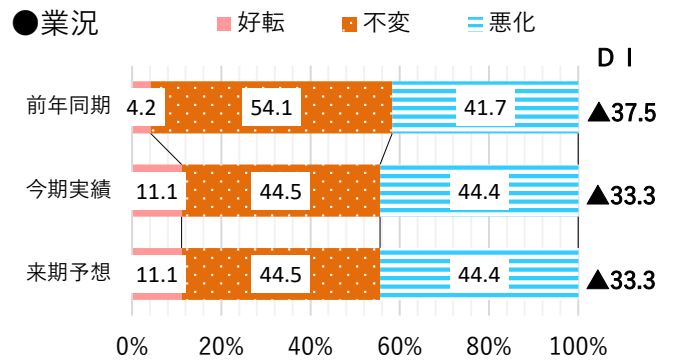


# 卸 売 業

## 業況、売上、採算

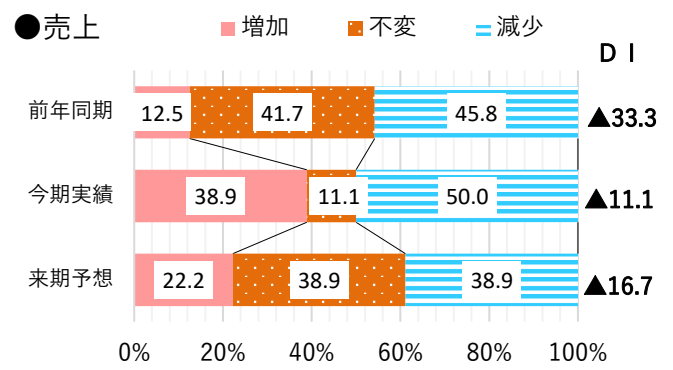
今期(2021.1~3)の業況判断DIは▲33.3で、前年同期(2020.1~3)と比べ4.2ポイント上昇しました。

来期(2021.4~6)は、業況に変化はないと予想しています。



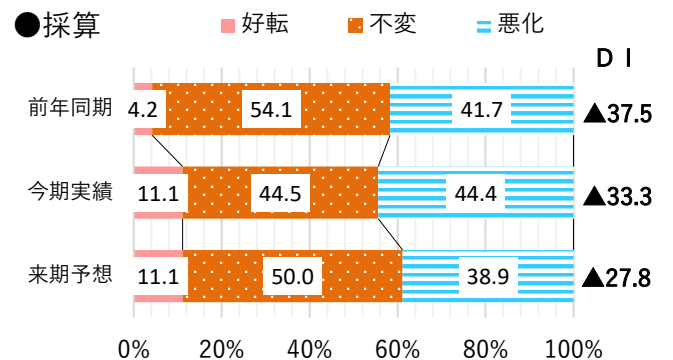
今期の売上DIは▲11.1で、前年同期と比べ22.2ポイント上昇しました。

来期は、売上の減少傾向が続くと予想しています。

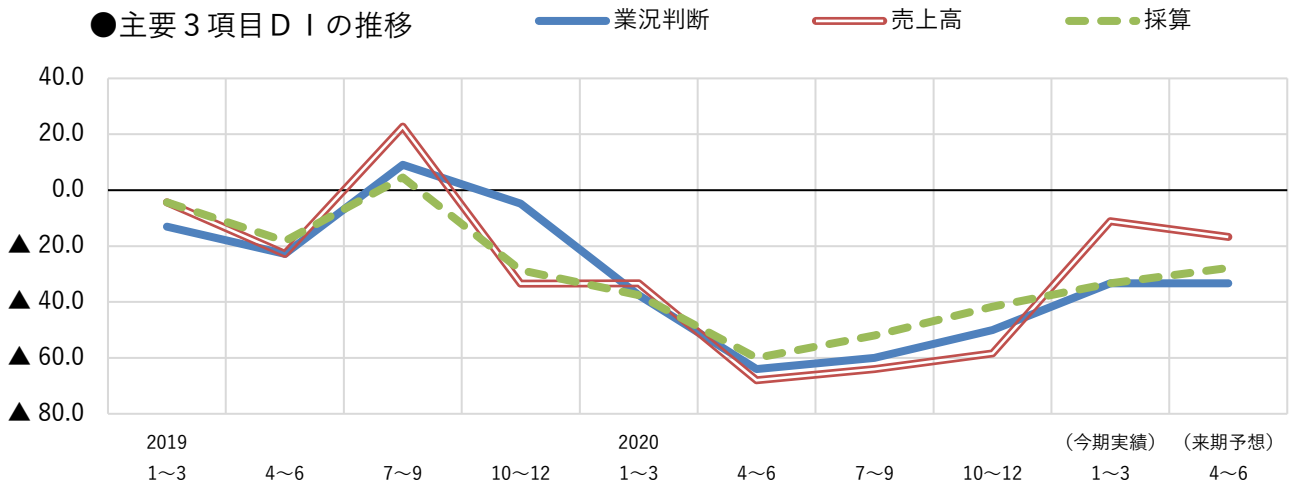


今期の採算DIは▲33.3で、前年同期と比べ4.2ポイント上昇しました。

来期は、採算の悪化傾向が続くと予想しています。



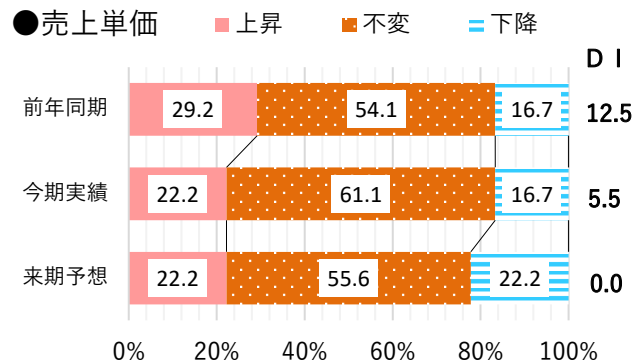
●主要3項目DIの推移



## 売上単価、商品仕入単価

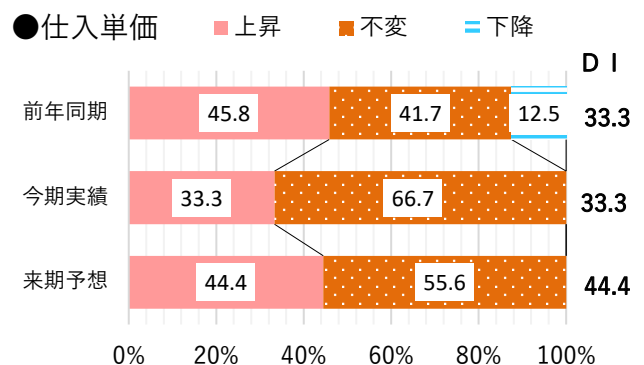
今期の売上単価DIは5.5で、前年同期と比べ7.0ポイント低下しました。

来期は、売上単価が下降すると予想しています。



今期の仕入単価DIは33.3で、前年同期と比べ横ばいとなりました。

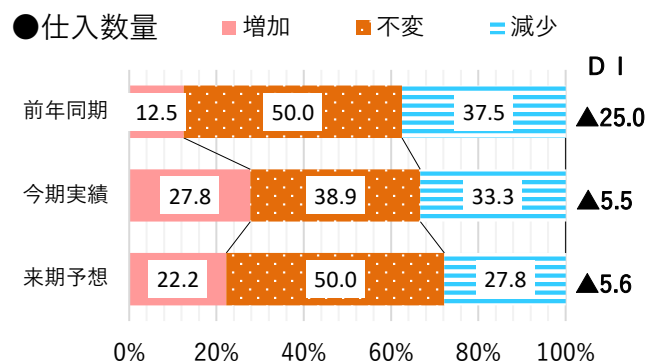
来期は、仕入単価の上昇傾向が強まると予想しています。



## 商品仕入数量、商品在庫数量

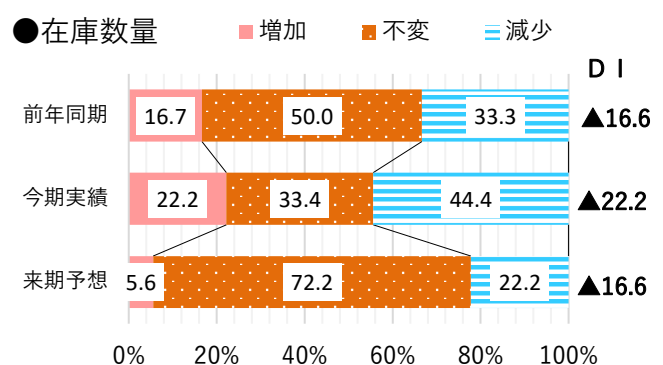
今期の仕入数量DIは▲5.5で、前年同期と比べ19.5ポイント上昇しました。

来期は、仕入数量に大きな変化はないと予想しています。



今期の在庫数量DIは▲22.2で、前年同期と比べ5.6ポイント低下しました。

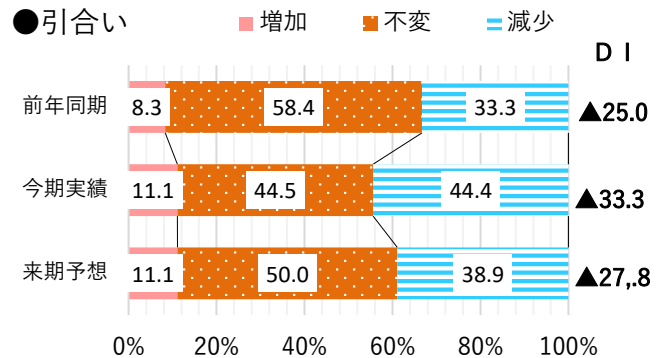
来期は、在庫数量の減少傾向が続くと予想しています。



## 引合い

今期の引合いDIは▲33.3で、前年同期と比べ8.3ポイント低下しました。

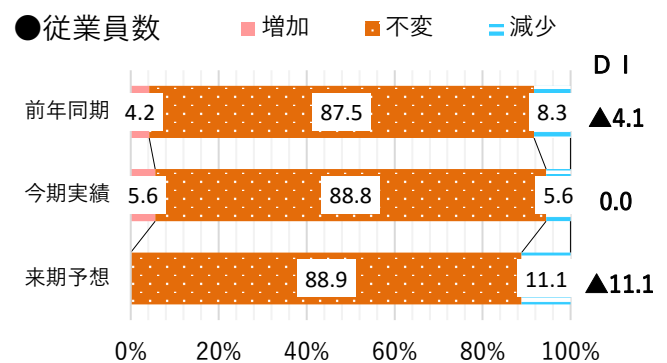
来期は、引合いの減少傾向が続くと予想しています。



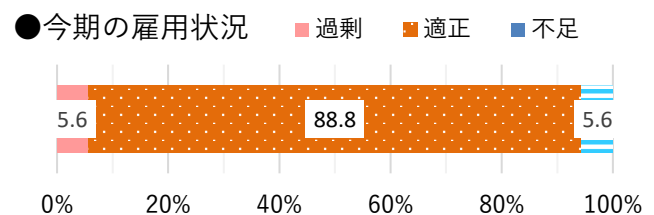
## 従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは0.0で、前年同期と比べ4.1ポイント上昇しました。

来期は、従業員数が減少に転じると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業の割合は5.6%、適正であると回答した企業の割合は88.8%、不足していると回答した企業の割合は5.6%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、卸売業全体の83.3%を占めています。

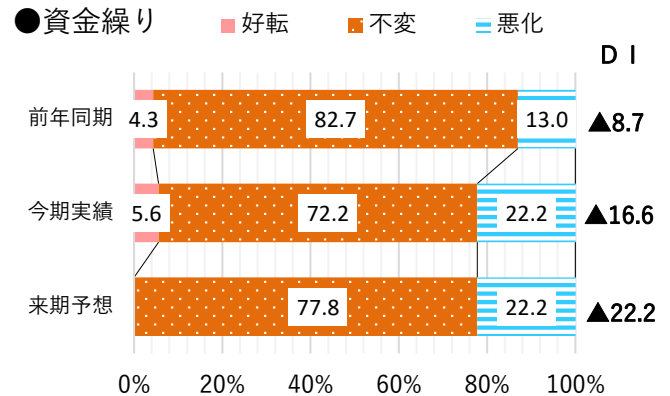
次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で増加し、充足している」、「前年同期比で変わらず、過剰である」、「前年同期比で減少し、不足している」（同位）という回答でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	1
	不足	0
不変だった	過剰	1
	適正	15
	不足	0
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	1

## 資金繰り、設備投資

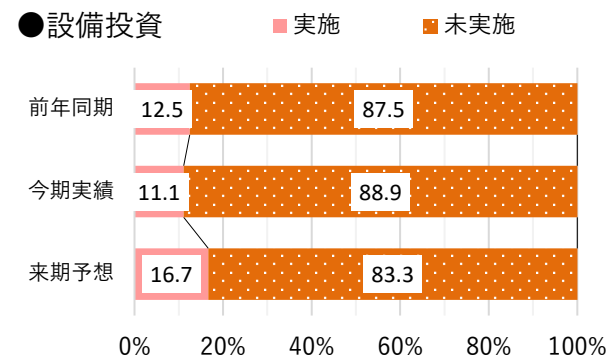
今期の資金繰りDIは▲16.6で、前年同期と比べ7.9ポイント低下しました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が強まると予想しています。



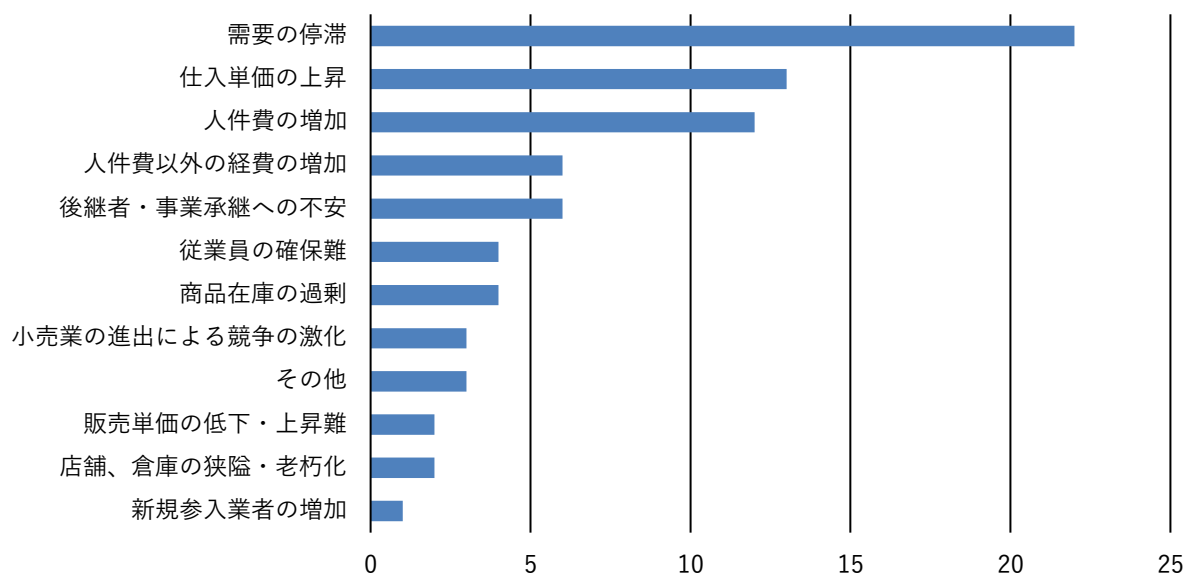
設備投資を実施した企業の割合は11.1%で、前年同期と比べ1.4%減少しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、2位が「土地」、「店舗」、「付帯施設」、「OA機器」（同位）でした。

来期に設備投資を計画している企業の割合は16.7%で、増加を予想しています。



## 経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「需要の停滞」、2位が「仕入単価の上昇」、3位が「人件費の増加」の順です。



## 企業の声

## [今期の業況について]

- 新型コロナウイルスの影響下で、工事など大型の受注が好調であったが、卸の売上が低調だったため、健全とは言えない状況である。人材確保が順調だった。（電気機械器具卸売）
- 原油価格が上昇した。価格転嫁が難しかったが、厳しい寒さのため、販売数量は確保できた。（石油卸売）
- 北海道新幹線工事、国道5号道路建設工事関連の売上が好調だった。今後も同様の傾向が続くと思われる。（建築材料卸売）
- 新型コロナウイルスの影響で飲食店等の売上が低迷し、納品量が大幅に減少したため、業況は悪化した。商品仕入原価の高騰はこの状況でも続いているため、厳しい状況である。（食料・飲料卸売）
- コロナ禍のため、売上と経常利益が減少した。（食料・飲料卸売）
- 降雪量が昨年より多く、寒暖の差も大きかったため、バッテリー、スノーブレード、ボディパーツの売上が好調だった。（自動車部品卸売）
- 新型コロナウイルス関連の補助を受けており、現状は問題ないが、来年度は分からない。（事務用品卸売）
- 閑散期とはいえ、販売量が予想以上に落ち込んだ。明確な原因は分からない。（鉱物・金属材料卸売）

## [来期の業況について]

- 受注の確保に注力するが、業績は悪化を予想する。（電気機械器具卸売）
- ワクチンによって新型コロナウイルスの状況が改善されると、原油価格が上昇し、業況は悪化するだろう。（石油卸売）
- 車両の販売台数や稼働が増加する時期であり、夏に向けた部品の売上も見込める。（自動車部品卸売）
- 業況は不透明である。（食料・飲料卸売）
- 大幅に上昇した仕入単価を、販売先に転嫁できるか分からない。仮に転嫁できても、工事の予定等が見直しになり、販売量が減少する可能性がある。（鉱物・金属材料卸売）